

《専門教育科目 幼稚園教諭免許状関連科目 教育相談等》

科目名	保育相談とカウンセリング				
担当者氏名	糠野 亜紀				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等	(幼) - 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 (幼) - 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法				

《授業の概要》

臨床心理学および発達心理学的の視点から子ども理解の方法を解説し、相談や援助に必要な心理学的知識について学ぶ。また、心理臨床の視点から、カウンセリングの技法について概説する。授業内では、アクティブラーニングとして、グループディスカッションを行う。

1. 子ども理解について(乳幼児期の発達理解と子ども理解の方法)
2. カウンセリングの基礎的知識
3. カウンセリング技法の実践

《参考図書》

『はじめての心理学』 氏原寛・松島恭子他 (創元社)

《教科書》

適宜、資料を配付

《授業の到達目標》

1. 乳幼児期における発達心理学的な知識を備え、子ども理解の方法を習得する。
2. カウンセリングの基礎的知識を理解するとともに、相談業務を実践する技能を身につける。
3. 援助の方法について仲間との議論(グループディスカッション)を通して検討する力を養い、それを論理的に文章化できるようにする。

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：M04
担当形態：単独
幼稚園教諭：必修
保育士：-
備考：アクティブラーニング実施

《成績評価の方法》

レポート・課題研究による授業保障の成果物：70%、発表：20%、取り組み姿勢：10%

《担当教員の業務経験と授業の関連》

臨床心理士および臨床発達心理士として、保育現場でカウンセリングや発達相談などの心理的援助に従事した経験を基に、カウンセリングの技法や子どもの理解についての授業を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	本講義の概要 / 1回生の復習小テスト【30分】
2	保育相談とは	乳幼児期における相談業務の意義と課題 / 保育現場での課題について考える【30分】
3	保育相談の技法	幼稚園・保育所の相談業務における心理学的技法について学ぶ / 自分自身の生活を振り返り「相談する」ということについて考えてみる【30分】
4	保育相談の実際と課題(1)	相談業務の進め方について学ぶ / 次回は事例について検討するので、本講義内容についてまとめておく【30分】
5	保育相談の実際と課題(2)	保育相談について具体例を通して理解する / 事例について検討したことをまとめておく【30分】
6	相談事例の実践	幼稚園・保育所における相談について実践的なロールプレイを体験する / グループで話し合ったことをまとめる【30分】
7	保育相談の実際と課題(3)	事例について理解を深め、援助の方法を考える / 事例について検討したことをまとめる【30分】
8	カウンセリングマインドの理解	ロールプレイを振り返り、カウンセリング技法の理解を深める / ロールプレイを通して学んだことを整理する【30分】
9	乳幼児の発達	エリクソンのライフサイクル論について、理論の特性を理解する / 理論の枠組みについて、自身の生活を振り返って考える【30分】
10	保育臨床(1)	乳児期の心理的発達と生活を理解する / これまでの子ども観察や保育実践を振り返り、発達理論の理解を深める【30分】
11	保育臨床(2)	幼児期の心理的発達と生活を理解する / これまでの子ども観察や保育実践を振り返り、発達理論の理解を深める【30分】
12	保育臨床(3)	子ども理解における発達の視点についてディスカッションを行う / 保育臨床(1)(2)を振り返り、自分の意見や考えをまとめ、ディスカッションに備える【30分】
13	全体の総括	これまでの学習内容を踏まえ、保育相談における発達の視点とカウンセリングの技法の理解を深める / 半期間のノートや資料を整理しておく【30分】
14	保育臨床(4)	【課題研究】ディスカッションで検討した援助の技法について、理解を深める / ディスカッションの内容を論理的に文章化する【90分】
15	保育臨床(5)	【課題研究】子どもの表現から心理的発達の意義について理解を深める / 理解した内容を文章化する【90分】